

その他

第14回地域医療対策協議会

令和7年9月3日

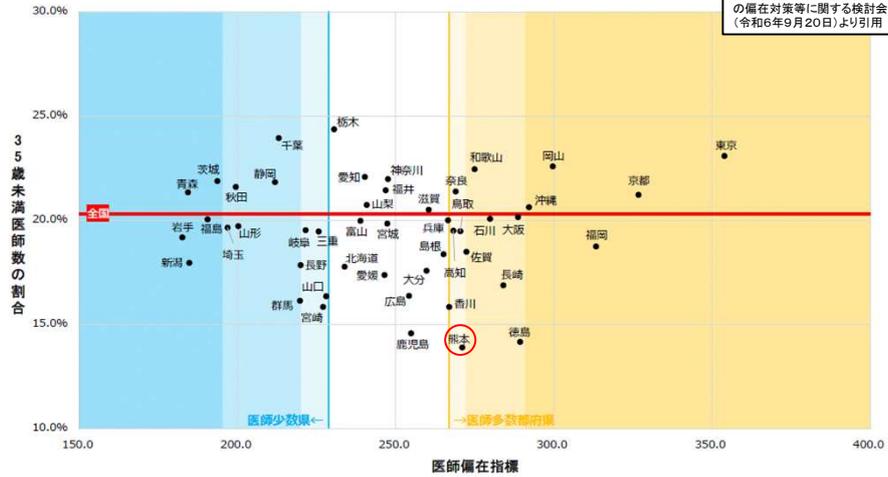
資料6

熊本大学からの「熊本医療枠」の創設 に関する報告

35歳未満医師数の割合と医師偏在指標



○ 都道府県別の医療施設従事医師数に占める35歳未満医師数の割合は、栃木、千葉、東京、岡山、和歌山が高く、医師多数県であっても熊本、徳島は15%未満と低くなっている。



13

熊本大学医学部医学科資料

出身高校(過去5年間)



2021年度~2025年度入学者(上位20校の内訳)

| 順位 | 出身高校名 | 総計 | 都道府県名 | 順位 | 出身高校名 | 総計 | 都道府県名 |
|----|----------|-----|-------|-----|----------|----|-------|
| 1位 | 熊本 | 133 | 熊本県 | 11位 | 西南学院 | 9 | 福岡県 ● |
| 2位 | 久留米大学附設 | 36 | 福岡県 ● | 12位 | 昭和薬科大学附属 | 8 | 沖縄県 |
| 3位 | ラ・サール | 35 | 鹿児島県 | 14位 | 明治学園 | 7 | 福岡県 ● |
| 4位 | 真和 | 23 | 熊本県 | 14位 | 済々黌 | 7 | 熊本県 |
| 5位 | 福岡大学附属大濠 | 17 | 福岡県 ● | 16位 | 修猷館 | 6 | 福岡県 ● |
| 6位 | 青雲 | 15 | 長崎県 | 16位 | 筑紫丘 | 6 | 福岡県 ● |
| 7位 | 宮崎西 | 12 | 宮崎県 | 16位 | 福岡 | 6 | 福岡県 ● |
| 8位 | 小倉 | 11 | 福岡県 ● | 16位 | 八代 | 6 | 熊本県 |
| 9位 | 明善 | 10 | 福岡県 ● | 20位 | 東筑 | 5 | 福岡県 ● |
| 9位 | 大分上野丘 | 10 | 大分県 | 20位 | 宮崎大宮 | 5 | 宮崎県 |



熊本大学医学部医学科資料

今後の医学部における地域枠・地元出身者枠の方針について

➤ 第8次医療計画等に関する検討会 第8次医療計画等に関する意見の取りまとめ（令和4年12月28日）抄

IV 医師確保計画策定ガイドラインに関する事項

(4) 医学部における地域枠・地元出身者枠の設定・取組等

①見直しの方向性

★ 都道府県は、安定した医師確保を行うため、地域枠に加えて地元出身者枠についても、恒久定員内への設置を進めるとともに、地域枠等の医師のキャリア形成を支援する。

②具体的な内容

- 医学部定員の減員に向け、医師養成数の方針について検討が求められてきた中、安定した医師確保を行うため、都道府県は、地域枠に加え、柔軟に運用できる地元出身者枠の恒久定員内への設置について、積極的に大学と調整を行うこととする。
- 特に医師少数県においては、自県内に所在する大学への積極的な地域枠の設置に加えて、地元出身者を対象として他県に所在する大学にも地域枠を設置し、卒前からキャリア形成に関する支援を行うことで、医師確保を促進する。
- 都道府県、大学、関係機関が連携して、キャリアコーディネーター等を活用しながら、キャリア形成卒前支援プランを通して学生時代から地域医療に従事・貢献する医師としての姿勢等を涵養し、各都道府県・大学等における地域医療を担う医師養成の観点から有効な取組について、情報共有を行う機会を定期的に設けることとする。
- 都道府県は、大学及び地域の医療機関等と連携し、医師少数区域等における医師確保が必要な診療科や医師数に加え、医師のキャリア形成の視点から医療機関の指導体制等についても十分に把握した上で、地域医療対策協議会で協議を行い地域枠の医師の配置を検討することで、地域枠の医師がキャリア形成をしつつ地域医療に従事しやすい仕組みを構築することとする。

Kumamoto University

3

医学部医学科入学定員



令和7年度～令和8年度（予定）

| | | | |
|-------|----------|------------|---------|
| | | 105名 | 4名 |
| | | 恒久定員 | 臨時定員 |
| 5名 | 10名 | 86名 | 8(4+4)名 |
| 推薦一般枠 | 推薦みらい医療枠 | 一般選抜(前期日程) | 推薦地域枠 |



全体の人数は変わらず、「一般枠」を廃止、「みらい医療枠」を半分に減員します



令和9年度～（予定）

| | | | |
|---------|----------|------------|---------|
| 10名 | 5名 | 86名 | 8(4+4)名 |
| 推薦熊本医療枠 | 推薦みらい医療枠 | 一般選抜(前期日程) | 推薦地域枠 |

熊本大学医学部医学科資料

熊本医療枠（学校推薦型選抜Ⅱ）



出願要件

- 全国の高等学校の卒業見込者を対象（学校から1人。ただし、熊本県内の高校は1校あたり5人、福岡・佐賀・長崎・大分・宮崎・鹿児島・沖縄の高校は1校あたり3人まで）
- 共通テストの得点率は原則80%以上
- 高校における学習成績は4.0以上
- 熊本医療への関心や貢献意欲が高いこと

募集人員

- 10人（一般枠5人を廃止、みらい医療枠を10人から5人へ減員）

教育支援・実習支援

- 熊本大学病院と指定関連医療機関とが連携し、本枠入学学生のための運営経費を拠出
- 大学院医学教育部と連携し「名医に学ぶセミナー」を開講
- 熊本大学病院と指定関連医療機関により最先端医療を学ぶ「最新熊本医療セミナー（仮称）」を開講
- 臨床実習では優先的に指定医療機関へ派遣
- 熊本医療枠学生と熊本大学病院及び指定医療機関を繋ぐ交流会を開催

卒業後

- 卒業後2年間は熊本大学病院もしくは指定関連医療機関で初期研修を受ける
- 卒業後3年目から5年目までは熊本大学病院研修プログラムによる専攻医研修を受ける
- 熊本大学大学院医学教育部へ進学したへ場合、修学期間は上記期間へ含めることが可能

熊本大学医学部医学科資料

指定関連医療機関について



- 熊本大学が大学病院を含む6つの病院を指定関連医療機関に指定【現在調整中】
 - 熊本赤十字病院
 - 済生会熊本病院
 - 熊本中央病院
 - 熊本市民病院
 - 国立病院機構熊本医療センター
 - 熊本大学病院
- 熊本医療コースに関する協定書を締結
- 熊本医療コースの運用に係る委員会を発足
- カリキュラムの共同運営の実施等

熊本大学医学部医学科資料

カリキュラムについて



熊本医療コース

- 熊本医療枠で入学した学生は、熊本医療コース生として扱い、他の学生とは異なる特別なカリキュラムを履修する。

在学時から、学生と医療現場のつながりを密にするカリキュラムを実施していきます



熊本大学医学部医学科資料

卒業後



初期研修

- 大学病院又は指定関連医療機関で初期研修を受ける
- 入学時に同意書を提出してもらう

専攻医研修

- 熊本大学病院を研究施設として含む専攻医研修を受ける
- 入学時に同意書を提出してもらう

卒業後5年間は
熊本を拠点

やりたいことが
見つかったゾ

大学院
進学も
可

医師として大事な時期
を熊本で過ごそう



熊本大学医学部医学科資料

参考資料

熊本大学医学部医学科資料

【参考①】導入の背景

社会情勢の変化

- 人口減少や少子高齢化が顕著となる中、医師の供給が需要を上回ってることが指摘され、医師増加のペースは見直しが必要になっている。
- 国は、医師多数県の臨時定員を、医師少数県へ振り替えることを検討。
- 医師確保計画策定ガイドラインでは、「安定した医師確保を行うため、都道府県は、積極的に恒久定員内への地域枠や地元出身者枠の設置について大学と調整を行う」と示されている。

国の医師確保政策は、総数の確保から、適切な配置へとシフトしていくでしょう。
それに伴い、臨時定員ありきの地域医療政策から、大学が恒久定員を活用し地域医療を支える方策への転換が求められています。



熊本大学医学部医学科資料

【参考②】導入の背景



大学の変化

- 1970年は約436人に1人が医学部進学していたところ、2024年度の募集定員で固定した場合、2050年は約85人に1人が医学部へ進学する計算になる。
- 各大学では、優秀な学生を確保し、地域定着を図るための入試の導入やカリキュラムの工夫などの必要性が高まっている。
- 基本的な職業選択の自由・営業の自由の考えを尊重しつつ、卒業後、地域に残って医療に従事する仕組みの構築が求められている。

九州でも、宮崎大学や長崎大学、佐賀大学など医学科の入試改革が進められています。

Ex.

- 宮崎大学 R4: 地域枠の募集人員を25人から40人へ拡充
- 長崎大学 R8: 長崎医療枠の募集人員を15人から25人へ拡充
- 佐賀大学 R8: 長崎県枠の廃止(佐賀県枠のみ募集)



熊本大学医学部医学科資料

【参考③】導入の背景



熊本県及び熊本大学病院の現状

- 熊本は「医師多数県」に属する一方、人口10万人あたりの医師数が全国平均を大きく上回っている。
- 一方、全国10万人あたり35歳未満の医師数は、全国平均を大きく下回り、最低水準である。熊本の医療の現状は、中高年の医師が支えている。
- 若手医師が熊本に定着せず、より都市部へ流出していると考えられる。

熊本大学病院の初期臨床研修医と専攻医の人数は、横ばいか減少傾向が続いています

(初期臨床研修医)

2017年 45人 → 2024年 13人 2025年 18人

(専攻医)

2019年 103人 → 2024年 80人 2025年 93人



熊本大学医学部医学科資料

【参考④】最新熊本医療セミナー(仮称)



- 熊本大学病院、指定関連医療機関の講師によるオムニバス講義を開講
- 1単位15コマを予定
- 1病院あたり1~2コマ(90分×1~2回)
- 残りのコマは、熊本大学が担当(熊本で医療を志すことを説く)
- 各病院の担当回では病院PRも歓迎

最新医療研究、医療現場に係る講演、地域医療に係るグループワーク、病院の魅力・優れた点など



熊本大学医学部医学科資料

【参考⑤】熊本医療交流会・熊本医療コース合宿



• 熊本医療交流会

- 熊本大学病院、指定関連医療機関と熊本医療コースの学生との懇談会を開催
- 病院医師と学生との信頼関係を構築
- 学生は「熊本の先輩医師」との交流を通して、熊本で医師となることの魅力や憧れ、目標をもってもらう

• 熊本医療コース合宿

- 熊本医療コース学生が熊本の医療の現状と課題、展望をより深く学んでもらうための合宿
- 希望があれば、大学病院や指定関連医療機関からも参加いただく



熊本大学医学部医学科資料